

アマミノクロウサギの森守ろう

寄付、購入費の7割に

日本ナショナル・トラストが来島 女優純名里沙さんも

鹿児島県・奄美大島に生息する国の特別天然記念物アマミノクロウサギを守るため、生息地の瀬戸内町の森約100杉を買い取る「アマミノクロウサギ・トラスト・キャンペーン」に取り組む環境保護団体の日本ナショナル・トラスト協会（本部・東京）のメンバーが8日、東京のFMラジオ



瀬戸内町役場を訪れた日本ナショナル・トラスト協会の関事務局長（右から2人目）と女優の純名里沙さん（左端）

房克臣町長と面会した純名さんは「クロウサギを15匹も見つけた。自然も人もすばらしく、番組

奄美復帰
60年

局J-WAVEの番組制作で女優の純名里沙さんと町を訪れた。一行は7日に来島。島の収録や、奄美市住用町の森でのアマミノクロウサギの観察、繁殖期を迎えた野鳥の鳴き声の録

では都会にない大切なものを訴えたい」と話した。番組は5月6日午後6時から2時間、関東地方で放送される。寄付を集め森を買い取る方法で自然保護を進める協会の関健志事務局長（49）は「奄美の世界自然遺産登録へ向けた話題とも重なり、キャンペーンは予想以上の反響がある」と話す。協会によると、購入した森を28区画に分けて寄付を募っているが、3月末までに日本航空が約300万円、大手ゼネコンの大成建設が約60万円の寄付を決めるなど購入費の7割の1300万円の寄付が集まり、6区画が残るだけという。

（幸正昭）